

シラバス

科目名	DTMベーシック I		担当者名	山田 泰士				
学科	ミュージック科 ヴォーカル&シンガーソングライターコース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選		授業時間数	72時間			
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	制作の上でDTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。							
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1	オリエンテーション	19	楽器知識				
	2	オリエンテーション	20	自主楽曲制作①				
	3	オリエンテーション	21	自主楽曲制作②				
	4	Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③				
	5	ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④				
	6	ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン				
	7	ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習				
	8	ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①				
	9	ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②				
	10	さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①				
	11	打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②				
	12	打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①				
	13	音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②				
	14	音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①				
	15	音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②				
	16	音楽理論・楽典④	34	まとめ1				
	17	音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2				
	18	Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	50%						
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%							
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学し ジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。							

シラバス

科目名	ミュージックセオリー I	担当者名	木下 龍平			
学科	ミュージック科 ヴォーカル&シンガーソングライターコース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 72時間		
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えていたかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。					
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。					
授業 計 画 表		授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説		
	2	オリエンテーション2	20	メジャー・ペントニックスケールとマイナー・ペントニックスケール		
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルース・ペントニックスケール		
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード		
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方		
	6	調と調性	24	チャーチモード①		
	7	音程と度数	25	チャーチモード②		
	8	小テスト	26	ドミナントスケール		
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト		
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①		
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②		
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方		
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト		
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト		
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括		
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリードミナント	34	確認テスト・まとめ1		
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。					

シラバス

科目名	アンサンブルセオリー I	担当者名	木下 龍平、山田 泰士、山田 達也、吉池 千秋			
学科	ミュージック科 ヴォーカル&シンガーソングライターコース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 144時間		
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。					
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション1	19	音作り研究			
	2 オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説			
	3 オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導			
	4 譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評			
	5 音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説			
	6 シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導			
	7 ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評			
	8 ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子			
	9 ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説			
	10 ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導			
	11 ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評			
	12 ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説			
	13 シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導			
	14 即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評			
	15 ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括			
	16 ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1			
	17 ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2			
	18 前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等					

シラバス

科目名	アンサンブルセオリー I	担当者名	木下 龍平、山田 泰士、 山田 達也、吉池 千秋		
学科	ミュージック科プレイヤーコース	授業方法	実習		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選		
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。				
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。				
授業 計 画 表	授業内容		授業内容		
	1 オリエンテーション1	19	音作り研究		
	2 オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説		
	3 オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導		
	4 譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評		
	5 音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説		
	6 シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導		
	7 ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評		
	8 ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子		
	9 ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説		
	10 ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導		
	11 ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評		
	12 ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説		
	13 シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導		
	14 即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評		
	15 ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括		
	16 ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1		
	17 ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2		
	18 前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%				
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等				

シラバス

科目名	DTMベーシック I	担当者名	山田 泰士	
学科	ミュージック科プレイヤーコース	授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。			
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	制作の上でDTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。			
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。			
授業 計 画 表	授業内容		授業内容	
	1 オリエンテーション	19	楽器知識	
	2 オリエンテーション	20	自主楽曲制作①	
	3 オリエンテーション	21	自主楽曲制作②	
	4 Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③	
	5 ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④	
	6 ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン	
	7 ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習	
	8 ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①	
	9 ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②	
	10 さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①	
	11 打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②	
	12 打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①	
	13 音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②	
	14 音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①	
	15 音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②	
	16 音楽理論・楽典④	34	まとめ1	
	17 音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2	
	18 Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率	50%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%			
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学し ジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。			

シラバス

科目名	ミュージックセオリー I	担当者名	木下 龍平			
学科	ミュージック科プレイヤーコース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 72時間		
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えていたかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。					
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。					
授業 計 画 表		授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説		
	2	オリエンテーション2	20	メジャー・ペントニックスケールとマイナー・ペントニックスケール		
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルース・ペントニックスケール		
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード		
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方		
	6	調と調性	24	チャーチモード①		
	7	音程と度数	25	チャーチモード②		
	8	小テスト	26	ドミナントスケール		
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト		
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①		
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②		
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方		
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト		
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト		
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括		
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリードミナント	34	確認テスト・まとめ1		
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。					

シラバス

科目名	アンサンブルセオリー I	担当者名	木下 龍平、山田 泰士、山田 達也、吉池 千秋			
学科	ミュージック科 サウンドデザイナー コース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 144時間		
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。					
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。					
授業 計 画 表		授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	音作り研究		
	2	オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説		
	3	オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導		
	4	譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評		
	5	音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説		
	6	シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導		
	7	ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評		
	8	ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子		
	9	ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説		
	10	ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導		
	11	ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評		
	12	ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説		
	13	シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導		
	14	即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評		
	15	ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括		
	16	ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1		
	17	ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等					

シラバス

科目名	DTMベーシック I		担当者名	山田 泰士				
学科	ミュージック科 サウンドデザイナー コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選		授業時間数	72時間			
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	制作の上でDTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。							
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1	オリエンテーション	19	楽器知識				
	2	オリエンテーション	20	自主楽曲制作①				
	3	オリエンテーション	21	自主楽曲制作②				
	4	Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③				
	5	ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④				
	6	ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン				
	7	ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習				
	8	ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①				
	9	ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②				
	10	さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①				
	11	打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②				
	12	打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①				
	13	音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②				
	14	音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①				
	15	音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②				
	16	音楽理論・楽典④	34	まとめ1				
	17	音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2				
	18	Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3				
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率							
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格				
	合計							
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》 R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》 G《海外体感型学習》							
講師プロ フィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学し ジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。							

シラバス

科目名	ミュージックセオリー I		担当者名	木下 龍平				
学科	ミュージック科 サウンドデザイナー コース		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選		授業時間数	72時間			
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えていたかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。							
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説				
	2	オリエンテーション2	20	メジャー・ペントニックスケールとマイナー・ペントニックスケール				
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルース・ペントニックスケール				
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード				
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方				
	6	調と調性	24	チャーチモード①				
	7	音程と度数	25	チャーチモード②				
	8	小テスト	26	ドミナントスケール				
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト				
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①				
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②				
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方				
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト				
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト				
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括				
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリードミナント	34	確認テスト・まとめ1				
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2				
	18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	40%						
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》 R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》 G《海外体感型学習》							
講師プロ フィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。							

シラバス

科目名	アンサンブルセオリー I	担当者名	木下 龍平、山田 泰士、山田 達也、吉池 千秋			
学科	ミュージック科大学コース	授業方法	実習			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 144時間		
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。					
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。					
授業 計 画 表	授業内容		授業内容			
	1 オリエンテーション1	19	音作り研究			
	2 オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説			
	3 オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導			
	4 譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評			
	5 音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説			
	6 シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導			
	7 ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評			
	8 ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子			
	9 ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説			
	10 ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導			
	11 ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評			
	12 ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説			
	13 シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導			
	14 即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評			
	15 ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括			
	16 ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1			
	17 ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2			
	18 前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等					

シラバス

科目名	DTMベーシック I		担当者名	山田 泰士				
学科	ミュージック科大学コース		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 72時間			
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	制作の上でDTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。							
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1	オリエンテーション	19	楽器知識				
	2	オリエンテーション	20	自主楽曲制作①				
	3	オリエンテーション	21	自主楽曲制作②				
	4	Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③				
	5	ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④				
	6	ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン				
	7	ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習				
	8	ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①				
	9	ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②				
	10	さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①				
	11	打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②				
	12	打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①				
	13	音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②				
	14	音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①				
	15	音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②				
	16	音楽理論・楽典④	34	まとめ1				
	17	音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2				
	18	Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付				
	学習態度・出席率	50%						
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%							
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学し ジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。							

シラバス

科目名	ミュージックセオリー I	担当者名	木下 龍平			
学科	ミュージック科大学コース	授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 72時間		
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えていたかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。					
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。					
授業 計 画 表		授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説		
	2	オリエンテーション2	20	メジャー・ペントニックスケールとマイナー・ペントニックスケール		
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルース・ペントニックスケール		
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード		
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方		
	6	調と調性	24	チャーチモード①		
	7	音程と度数	25	チャーチモード②		
	8	小テスト	26	ドミナントスケール		
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト		
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①		
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②		
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方		
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト		
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト		
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括		
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリードミナント	34	確認テスト・まとめ1		
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》20% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。					